

人権理事会 高等弁務官が世界の人権状況を報告

2024/03/04

国連人権高等弁務官事務所

人権理事会で人権高等弁務官が発言した。内容は以下のとおり。紛争の波が人々の生活を直撃し、経済を破壊し、人権を著しく損ない、世界を分断し、多国間解決への期待を覆している。世界では55の紛争が生じ、国際人道法・人権法の広範な違反が多くの民間人に破壊的な影響をもたらし、移動と人道危機はすでに前例のない規模に達し、地域的・世界的な影響が生じている。平和に対する権利は全ての人権の母なるものである。平和でなければ、他の全ての権利が消滅する。戦争の挑発、恐怖、増大する憎悪と敵意は多くの人々の生活と権利を破滅させる一方、少数の人々に短期的な利益をもたらす。こうした状況に立ち向かう方法を考えることが急務である。我々は平和思想を取り戻さなければならない。これは、段階的縮小、オープンなコミュニケーション・チャンネルの維持、信頼の再建、癒しと和解の長期の活動、全人類の相互関連性と運命の共有の再構築を意味する。